

特 集 工房よつば

現在十二名の方が、グループホームや自宅から通いながら日々活動しています。今回は皆さんが取り組んでいる仕事の内容や生活の様子についてご紹介します。

～受託作業～

皆さんにとって一番馴染み深いのがバリ取り作業です。仕事をたくさんいただき、作業部屋が箱でいっぱいになると「今日も頑張ろう！」と、皆さんのモチベーションも上がるようです。その他にも新聞の粗品となるゴミ袋セットの作成や宿泊施設の入浴セット詰めなど、様々な作業を行っています。

綺麗にたたみます！



～自主製品～

自主製品の中で一番力を入れているのが、入浴雑貨の「贅沢なよもぎ風呂呂」です。厳選したよもぎで作ったこの品は清々しい香りを楽しめると人気で、毎年多くのご注文をいただいています。また、昨年より手芸品やハンドメイドのアクセサリー作りにも取り組み始めました。皆で意見を出し合い、試作を積み重ねています。さらに畑では様々な野菜を栽培し、即売に出したり皆で美味しくいただきます。



さらに畑では様々な野菜を栽培し、即売に出したり皆で美味しくいただきます。

～娯楽～



仕事のほかに、季節の行事や外出等で気分転換を図っています。仕事から離れて楽しい時間を過ごすことで、また翌日からの仕事も頑張ろうと励みになるようです。また、仕事の休憩時間にも、四ツ葉園の外周を散歩したり、コーヒーでホッと一息ついたり…。皆さん思い思いに過ごしておられます。

工房よつばでは、利用者の方の個性等を配慮し作業内容や手

♡ シュシュ
♡ バスケース
♡ マグネット など…



順を提示しています。利用者の方が工房よつばに通うことで達成感や充実感を得ることが出来るよう、今後も皆さんと一緒に活動していきたいと思えます。



(朝岡支援員 記)

今年度もみんな仲良く頑張らしましょう☆

四ツ葉園だより

畑作業 スタート

四月に入り、暖かい日が少しずつ増え「さあ今年も畑作業の始まりだ」と思った矢先の新型コロナウイルス騒動。例年であれば草むしり、土を耕し畝作り、種苗植えなど行っている時期ですが、現在四ツ葉園では新型コロナウイルス感染症対策として四月より日中の班活動は行っておりません。



被害に遭いました。昨年からの数頭

れに追いかけるように、原木し、原木したいけと昨年秋に植えた玉ねぎが

で来て原木しいたけを荒していったのですが、今年は十数頭でのご来猿でした。原木しいたけはかなり食べられてしまいました。



玉ねぎの被害は最小限にとどまり、玉ねぎとにんにくは順調に育っています。異常

気象により天候の変化も読めない中、三月より植え始めた花の苗も順調に育っています。新型コロナウイルス感染症の終息の目途も立たない状況ではありますが、早い時期での畑作業の再開、六月の玉ねぎとにんにく収穫、保護者の皆様との花の苗植えが行えるようお願い、畑作業に取り組んでいきます。

(平田主任支援員 記)

自治会役員任命式

四月の定例会で今年度の自治会役員に決まった利用者さんの任命式を行いました。感染症で大変な時期ですが、このメンバーで四ツ葉園を盛り上げられるよう頑張っていきます！

やる気いっぱいです!!



副自治会長
森川 俊治さん

副会長を頑張ります。いっぱい活躍したいです。



自治会長
柴田 智恵さん

楽しい四ツ葉園になるよう頑張ります。よろしくお願ひします。

贈呈品



副自治会長
宮崎 トシ子さん

定例会のプレゼント渡しを頑張ります！

(酒井拓支援員 記)

三月、日本海綿業株式会社より「マットレス」、上市町社会福祉協議会より「テント」を寄贈していただきました。四月、上市町からコロナウイルス対策での消毒による肌荒れケアにと「ハンドクリーム」(池田模範堂)をいただきました。園の行事や生活支援に使用させていただきます。ありがとうございます。



雷鳥苑だより

畑作業本格始動!

良い日は畑に出て畝作りに取り組んでいきます。例年の同時期

春を迎え、雷鳥苑では今年も畑仕事が始まりました。今年の冬は雪が少なかったため、畑に青々と伸びた雑草の草むしりから始まりました。ラベンダー畑では、一部の畝の株が生育不良のためむなく撤去し、土壌改良を施した畝に五月十三日、ラベンダーの苗を植えました。

また、今年度から畑西側で唐辛子の栽培にチャレンジすることに、五月までには唐辛子の苗植えを終わらせなくてはならないため、四月からは天気の良い日は畑に出て畝作りに取り組んでいきます。例年の同時期より気温が高い日が続き、男性利用者の皆さんは、作業着を脱ぎ額に汗を滲ませながら、Tシャツの袖をまくり上げて一生懸命にくわを振るっています。今後、六月には、にんにく(福知ホワイト六辺)とラベンダーの収穫作業が始まり、八月には唐辛子の収穫作業を予定しております、今年も雷鳥苑の畑はとて忙しくなりそうです。皆でコロナウイルスに負けずに協力し合って畑作業に取り組んでいきます。収穫したものは随時加工し販売していきますので、楽しみにしててください。

(長瀬支援員 記)



畑作業の様子



ラベンダーの苗を植える様子



畑作業の様子

工房よつばだより

おやつ作り&ひなまつりの会

三月四日の午前中、おやつ作りを行いました。メニューはプリンです。牛乳を火にかけて、焦がさないようにゆつくりしっかりと混ぜて…完成したら容器に流し込んで冷蔵庫で冷やします。



午後には毎年恒例のお雛様を飾って、ひな祭りの会を行いました。ひな祭りの由来や雛飾りについて、クイズを交えながら皆さんに話をしました。女性陣の間では「私の家は五段のお雛様

その後午前中に作ったプリンに生クリームや苺、シユークリーム等をトッピングし、一人ひとりオリジナルのプリンアラモードを作りました。自分たちで作ったおやつのはひとしおのようで、皆さん嬉しそうに食べておられました。

(朝岡支援員 記)

ひな祭りは別名「何」の節句と
言うてしよつ?



さつき苑だより

いつもと 違った花見



桜が咲き、待ちに待った花見の季節となりました。ところが今年にはコロナの影響で花見の自粛というニュースが...。それでも、さつき苑ではバスの中から桜を愛でることにしました。

バスの窓越しに見る桜は手が届きそうで届かない切ない桜でしたが、今年には花より団子ということで、皆さんおやつをおいしそうに食べておられました。

来年こそ桜の下で走り回る事ができるよう、みんなで神様にお願いをしました。

令和二年度のさつき苑

今年度さつき苑の作業班は、受託作業・畑作業の他に、加工製品作りへの取り組みに力を入れます。前年度好評だったサツマイモ(紅はるか)を使ったお菓子作りを企画しています。ねつとりとした自慢の焼き芋をクッキー生地練りこんだ、あまーい焼き芋クッキーが試作第一号です。早く皆様のところへお届けできるように頑張ります。

生活介護班では、運動や工芸活動も今まで通り頑張りますが、畑作業へ多く参加するよう計画しています。野菜収穫の喜びや、土を触る感覚が利用者さんの笑顔に繋がればと思います。

行動障害への取り組みも強化していきます。今までは作業班と同室での作業が中心でしたが、今年度は、静かで集中できる作業室を作り、より落ち着いて支援できる環境にしていきたいです。

今年度、さつき苑は利用者さんの工賃アップとともに笑顔アップを目指して頑張ります。

(酒井友主任支援員 記)

つつじ苑だより

オリジナル ジャム作りを 目指して



一昨年より滑川市のブルーベリー園の園主、桶川克己さんに教えていただきながらブルーベリーの栽培をしています。つつじ苑では、収穫したブルーベリーを使用してジャムを作り販売することを目標としています。

昨年度は、収穫したブルーベリーの他に、地域との繋がりを大切にし、滑川産のリンゴや地域の方からいただいたイチジク、キウイを使用しジャムを作りました。また、苑ではパジル(インド・熱帯アジア原産のハーブ)も栽培しており、パジルを使ったソース(パジルとオリブオイル)も作りました。作った



ジャム、パジルソースは、四ツ葉園祭、つつじ苑祭での試食コーナーに来ていただいた方々に試食していただきましたが、「おいしい」「購入したい」という声もあり、とても励みとなりました。

また、つつじ苑祭ではブルーベリージャム・イチジクジャムの販売も行いましたが、あつという間に完売しました。その後も改良を重ねて、苑内でもジャムの試食を兼ねてジャムパーティーを行い、利用者の皆さんに食べていただきました。利用者の皆さんの反応は様々で、顔をしかめる方もいれば、食べた瞬間笑顔になる方もおられ、ジャムを通じてとても和やかな会になりました。今年度も試作、改良を繰り返しながらよりおいしいジャムを作り、皆さんの笑顔が笑顔になるようなおいしい「tsutsuji cafe 印のジャム」を作りたいと思っています。

(宮川支援員 記)

グループホームだより

春旅立ち

四月、一人の青年がグループホームを巣立ち、念願の一人暮らしを始めました。「助けが必要だったと言ってたね」と伝えると、「たまにご飯を食べに行ったり飲みに行ったたりして話を聞いてくれば充分」と。そうですね、これからはいち友人としてのお付き合いが始まります。

出逢い

三月、二人の仲間をお迎えました。お一人は自分の生活をしっかり持つておられるニッコリ笑顔が素敵な方。もうお一人は、スポーツが得意でキラキラとした眼を持つ社会人一年生。皆さんの希望溢れる春になりました。

高岡市美術館

絵画教室で製作した絵を、高岡市美術館で開催された「moehicon展」に出品しました。立派な美術館での展示は作家さんたちの励みになり、今後の制作意欲につながりました。



赤い羽根共同募金

今年もご厚意を得て、新年会を開催いたしました。会場の「立山国際ホテル」では、ゆつたりと温泉、おいしい食事、年男さん、年女さんの紹介、詩吟の披露、カラオケ大会を行い、司会進行も利用者さんで盛大な会となりました。ありがとうございました。

(黒田施設長 記)

二年目の声

新川会四ツ葉園に勤めて二年目を迎えた四名の職員にインタビューしました。

Q1 一年間を振り返って印象に残っていることは？

山田 焼きいもの会で利用者さんといもを一緒に巻いたり焼いたりしたことです。

橋本 期末の集いでの新規採用職員からの出し物の際に、利用者の方もステージに上がり一緒にダンスをしたことです。

柿沢 期末の集いでの新規採用職員の出し物で踊ったパブリ力で会場全体が一体となって楽しみ、笑顔がたくさんあり嬉しい気持ちになったことです。

園川 しいたけの原木を運んだり



柿沢珠来 支援員 橋本有香理 支援員
園川光 支援員 山田良明 支援員

Q2 二年目の抱負、目標、今後の意気込みは？

山田 今後も利用者の皆さんと一緒に活動に取り組みながら楽しく頑張りたいです。

橋本 利用者の皆さん、それぞれの個性あふれる中で、一人ひとりと向き合いニーズに答えられるよう、先輩方とチームワークで支援に取り組みたいです。

柿沢 利用者の皆さん一人ひとりと向き合い、日々の生活の中で笑顔が溢れる機会をたくさん作れるように頑張りたいです。

園川 少しずつ支援の質を高め、利用者の皆さん、保護者の方々にも安心してもらえるように成長していきたいです。